

経営発達支援計画・事業評価委員会の報告について

令和2年度に実施した伴走型小規模事業者支援推進事業について、新型コロナウイルス感染対策として、事業評価委員会の各委員より書面にて事業評価いただきました。

については、その概要を下記の通りご報告します。

記

■委員	委員長	翠田 章男 氏（富山商工会議所 副会頭）
	委員	細川 謙一 氏（富山県商工労働部 地域産業支援課長）
	委員	高橋 洋 氏（富山市商工労働部 商業労政課長）
	委員	布目 大剛 氏（（一社）富山県中小企業診断協会 会長）
	委員	坂本 弘志 氏（北陸税理士会富山支部 支部長）
	委員	夏野 光弘 氏（（公財）富山県新世紀産業機構 中小企業支援センター長）
	委員	森田 達也 氏（株日本政策金融公庫富山支店 国民生活事業統轄）
	オブザーバー	鈴木 悟 氏（中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局 産業課長）

■内 容 令和2年度／伴走型小規模事業者支援推進事業などについて（事業報告）

■主な意見

- ・新たな需要の開拓を図る一連の活動の成果は、今後に期待が寄せられる。共同広告や、共同販売は個店のマーケティング活動に一石を投げるアイデアだと思う。
- ・感染症対策として、事業の中止や縮小を余儀なくされているが、例えば、販売期間中に、時間限定のオンライン販売を織り込む等、非接触を図るオンライン手法をリアルとの組合せで活かしてはどうか。
- ・どの事業もコロナ禍で工夫をしながらできることに取り組まれた印象である。コロナの終息が見えない中、ウィズコロナの時代に既存顧客だけでなく、新たな需要を生み出す事業を計画されていることは評価できる。
- ・第2期経営発達支援計画の初年度であり、コロナ禍で事業遂行に多くの困難があった中で、事業承継セミナーを実施されるなど、着実に成果を出されたと思う。今後も、これまで以上に小規模事業者に寄り添った経営支援を続けて欲しい。
- ・コロナ禍において既存顧客の消費行動に変化があるなか、現在の事業を適正に分析し、課題を踏まえた中長期的な経営計画策定に取り組むことに大きな意義があり、経営計画策定支援や事業承継支援の取り組みは今後ますます重要になる。
- ・新規顧客開拓は多くの企業が課題と感じていることだが、個別企業の取り組みには限界があり、頭を悩ませている事業者も多い。こうしたなかで、共同広告や共同販売はこれらの課題解決の一つの手法として期待でき、成果もあがっていることから評価できる取り組みである。
- ・新商品・新サービス合同プレス発表会は、「事前研修会→予行演習会→合同プレス発表会」と段階を踏んで進めているが、受講者人数にバラツキがある。発表者は、事前研修会・予行演習会の受講は必須かと思うが、事前研修会の受講者全員が発表することまでつながれば、より多くの事業者のプレゼンスキルアップにつながるのではないかと。
- ・実績数値からも的確に事業が遂行されている。

以上